

名古屋大学遺伝子実験施設 助教（テニュアトラック）の公募

名古屋大学遺伝子実験施設 遺伝子解析分野（多細胞秩序グループ）では、助教（テニュアトラック教員）1名を公募します。

1. 公募人員：助教（テニュアトラック教員）1名
2. 所属部門：遺伝子解析分野（多細胞秩序グループ）
3. 研究および業務内容：植物の細胞間コミュニケーションを介した個体秩序制御機構および個体老化制御機構の研究経験を有し、グループの教員と緊密に協力して熱意と責任感をもってグループの推進する研究およびグループに所属する学生の指導に取り組める方を募集します。特に、網羅的で多面的な遺伝子発現制御機構（トランスクリプトミクス、エピゲノミクス、プロテオミクス）の解析経験を持ち、生殖と形態形成に関して藻類から被子植物までを含めた進化的視点に基づく十分な研究実績を持つ方で、遺伝子実験施設の運營業務を深く理解した上で積極的に運営に参画できる方を希望します。遺伝子実験施設の詳細は下記をご覧ください。

<https://www.gene.nagoya-u.ac.jp/index.html>

4. 着任時期：令和5年7月1日以降の出来るだけ早い時期
5. 任期：5年
テニュアトラック制度により、審査を経てテニュア助教（任期なし）になることが可能です。
6. 応募資格：学位（博士）取得または着任までに取得見込みの者
7. 提出書類：
 - (1) 履歴書
 - (2) これまでの研究の概要（2000字以内）
 - (3) 業績リスト
 - (4) 着任後の研究、教育と遺伝子実験施設運営の抱負（2000字以内）
 - (5) 照会先1名の連絡先
8. 公募締め切り：令和5年3月15日（水）必着
9. 書類送付先：名古屋大学遺伝子実験施設 人事委員長 木下俊則
E-mail：plantphys@bio.nagoya-u.ac.jp

【提出方法】上記の提出書類(1)～(5)を1つのPDFファイルにまとめ、上記のアドレスに添付で送信してください。メールのタイトルは「遺伝子実験施設助教応募」として下さい。3日以内に受領確認のメールを返信します

ので、届かない場合には必ずご連絡下さい。また、ファイルサイズは全体で20M バイトを超えないようにしてください。どうしても超えてしまう場合には、あらかじめご連絡下さい。

10. 選考方法：1次（書面）審査後、2次（面接、セミナー）審査を行い、適任者1名を決定します。

11. 問い合わせ先：名古屋大学遺伝子実験施設 打田直行

E-mail : uchinao@gene.nagoya-u.ac.jp

Tel : 052-789-3080

12. その他

・名古屋大学は男女共同参画を推進しています。詳細は下記をご覧ください。

<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp>

・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、下記の「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（様式1）の提出が必要となりますので、上記応募時提出書類(1)～(5)とともに送りください。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。

類型該当性の自己申告書

名古屋大学に教職員として応募する方、学生として出願する方には「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いさせていただきます。

ご自身の立場について別紙フローチャートを参照いただき、該当の項目にチェックを入れて応募および出願の書類と一緒にご提出ください。

部局 _____

氏名 _____

類型①に該当 類型②に該当 類型③に該当 いずれにも該当しない

類型①～③に該当する方は下記にその根拠を記載し、エビデンスを提出してください
該当性の根拠

例：〇〇機関に雇用されている、〇〇から資金提供・奨学金を取得している、もしくは
予定

(_____)

エビデンス資料

例：海外機関の雇用証明書(雇用通知書・契約書)、海外機関からの資金提供通知書(個人)、
奨学金の受給通知もしくは申請書など

(_____)

※類型該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-747-6702

類型該当性判断のフローチャート

